

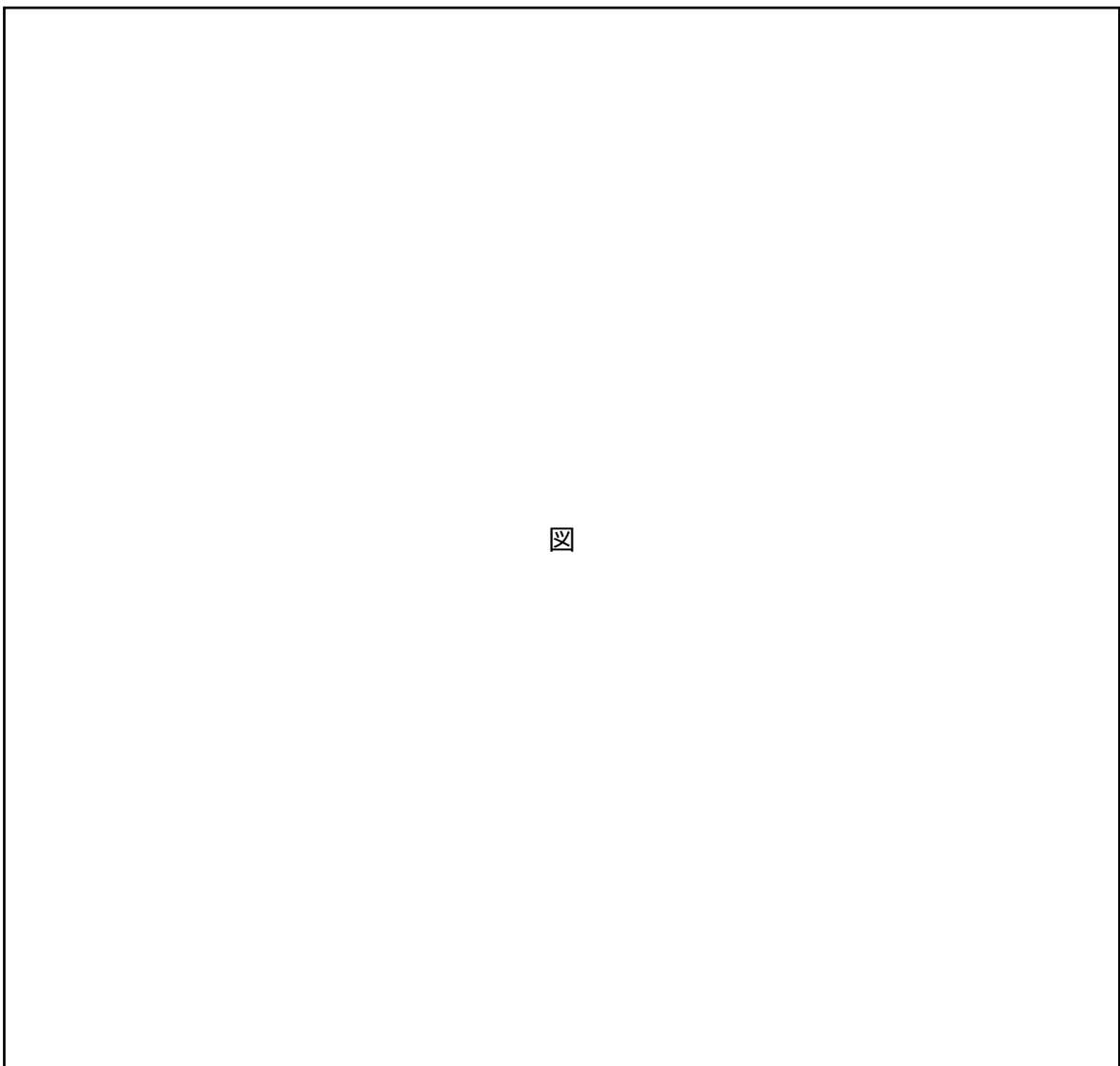
国内・国際交流分野の施策(案)

6. 国内・国際交流分野

(1) 国内・国際交流とは

協定等の締結にとらわれず、様々な分野にわたる住民・団体同士のつながりに関わるものを交流ととらえ、「国内」と「国際」を分けて整理します。

【国内・国際交流分野のイメージ図】



(2) 基本方針

①分野間の連携による住民相互の交流機会促進

多様なテーマから交流都市とつながり、住民相互の興味・関心を広げ、区の魅力の再発見を目指します。

②わかりやすい情報発信と交流の機会づくり

交流をさらに充実させるため、区民へのわかりやすい情報発信、交流機会の創出を推進します。

③外国人との交流の場の創出による国際理解の醸成

区内在住・在学・在勤の外国人との交流を促進し、交流の場を通して国際理解の醸成を図ります。

(3) 施策

国内・国際交流分野の施策体系は以下のとおりです。

分野	基本方針	施策
国内・国際交流	① 分野間の連携による住民相互の交流機会促進	
		ア 多様なテーマ設定による興味・関心の広がり
		イ 区ではできない体験のきっかけづくり
		ウ 都市とのつながりを通しての区の魅力の再発見
	② わかりやすい情報発信と交流の機会づくり	
		ア ターゲットへの的確に伝わるわかりやすい情報発信
		イ つながりのある都市との魅力の相互発信
		ウ 行政間連携による地域資源を活かした交流機会の充実
	③ 外国人との交流の場の創出による国際理解の醸成	
		ア 外国人との交流機会の充実
		イ 交流を通じた国際理解の促進

①分野間の連携による住民相互の交流機会促進

指標	現状値	目標値

ア 多様なテーマ設定による興味・関心の広がり

他分野への関心や参加意向を踏まえ、国内・国際交流事業の魅力化を図り、広げていくことが重要です。

身近な社会課題をテーマとしたイベント等により、国内・国際交流への機運醸成を図ります。

取組の例

■他分野との連携による交流テーマの多様化・魅力化

球技や武道等のスポーツ、文学や古典芸能等の文化芸術、観光、学習活動等をきっかけとして、他分野との連携により交流事業のテーマを広げます。

国内・国際交流そのものへの関心の度合いに関わらず、身近な興味・関心から参加できるきっかけをつくり、住民同士の交流やつながりにつなげます。

■社会課題をテーマとする取組を通じた交流支援

防災・平和学習等、地域に共通する社会課題をテーマとして、文京区や交流都市の学校・地域団体等によるネットワークを活かした交流を進めます。

こどもや若い世代が地域間での違いや共通点を学び、将来につながる経験を得られる機会の充実を図ります。

イ 区ではできない体験のきっかけづくり

国内外の交流都市と連携することにより、学習活動や観光等を通じた交流をきっかけとし、本区ではできない体験を満喫できる環境を推進します。

取組の例

■区内では経験できない自然の中での事業や異文化体験機会の創出

交流都市ならではの自然、文化、産業等につれる体験や、学校・地域団体等と連携した学習活動など、交流の機会を創出します。

ウ 都市とのつながりを通しての区の魅力の再発見

交流都市にまつわる情報を周知し、提供していくことで、区民の興味・関心を沸かせ、継続的な交流につなげるとともに、あらためて文京区の良さを知ることができる取組を推進します。

取組の例

■ 交流都市とのつながりや交流のきっかけとなる背景の周知

物産展、区報、SNS、講座等の多様な機会を活用し、文学・歴史・防災等、交流都市と区との交流の背景や過去の取組内容を発信します。年代や関心度合に応じて伝え方を工夫することで、交流都市への訪問を促し、交流の機運を高めます。

■ 交流都市との交流を通じた文京区の魅力再発見

イベントへの出展・協力や相互訪問等を通じて、交流都市の文化や暮らしを知り、互いの魅力を発見する機会をつくることで、異なる背景理解の先にある区の魅力の再発見や区への愛着につなげます。

②わかりやすい情報発信と交流の機会づくり

指標	現状値	目標値

ア ターゲットへの的確に伝わるわかりやすい情報発信

世代や関心、言語等に応じて、媒体や内容、発信時期を工夫することが重要です。SNS 等を活用し、ターゲットにわかりやすく情報を届けます。

交流事業の予定や参加方法を適切な時期に周知するとともに、区内の文化や地域資源の魅力について、国内外に正確に発信していきます。

取組の例

■ ホームページ・SNS 等を活用した情報発信・PR の充実

区報、ホームページ、SNS 等の特性を活かし、交流事業の予定や参加方法、交流都市の魅力等をわかりやすく発信します。対象に応じて紙やデジタル、多言語を使い分けるとともに、ホームページ等では区内の周遊・滞在につながる情報を発信し、幅広い層へ情報到達を図ります。

■ 訪問団の派遣・受入れ事業等を活用した情報発信

訪問団の派遣や受入れ、学生や住民相互の交流、区内施設を見学する様子や参加者の声を発信し、交流を身近に感じられる情報を充実させます。参加者が交流を通じて得た気づきや楽しさを伝え、新たな参加や次の交流のきっかけとなるよう、継続的な情報発信につなげます。

イ つながりのある都市との魅力の相互発信

つながりのある都市との節目のキャンペーンなどを通じて、双方向からの情報共有と相互発信を促します。時期やテーマに応じて紹介することで、住民同士の関心と交流を深めます。

取組の例

■ つながりのある都市の周知と認知度向上に資するイベントの定着化

区と交流都市の文化、物産、取組等を知り、住民同士が交流できる機会を継続的に設けます。交流都市の住民や関係者とイベントの来場者が直接つながる機会づくりを進めます。

■ 協定締結等の周年時期を利用した重点的な企画と周知

協定締結等の周年や節目を活用して個々の都市を重点的に紹介し、交流の背景や特色を知る企画の情報発信を行います。

■ 情報の共有と相互発信

交流都市と情報を共有し、本区から相手地域の魅力を、相手地域から本区の魅力を発信する双方向の取組を進めます。双方のイベントへの出展・協力や、文学・古典芸能等の文化芸術をはじめとする共通テーマを活かし、住民同士が互いの地域を知り、新しい発見や交流につながる機会を広げます。

ウ 行政間連携による地域資源を活かした交流機会の充実

文化施設や観光地だけでなく、産業・経済を含めた地域資源を活かした取組を通じ、交流都市との連携強化を図ります。

取組の例

■ 地域と経済の活性化

物産展等を通じて交流都市の地域産業や特産品の魅力を伝え、区民と事業者との交流を促すことで、双方の地域経済の活性化につなげます。

■ 社会課題を通じた他都市との交流・連携強化

災害時の相互支援、一時的な避難先の確保等、有事も見据えた行政間の連携を進めます。日頃から交流を積み重ねることで、必要なときに助け合える関係づくりを進めます。

■ 共生社会を念頭に多様な団体等と連携した交流機会の創出

行政だけでなく、大学等の学校、地域団体、民間団体などと連携し、それぞれの強みやネットワークを活かした交流機会を創出します。語学や外国の文化・歴史等を学ぶ機会を充実させるとともに、区民が関心や経験に応じて参加でき、交流を楽しみながら関わることのできる機会を広げます。

③外国人との交流の場の創出による国際理解の醸成

指標	現状値	目標値

ア 外国人との交流機会の充実

国籍や言語にとらわれることなく、日常的に顔の見える関係をつくることが重要です。

交流機会を充実させることで、外国人との日常的な関係を築き、さまざまな場面で相互に助け合える関係づくりを進めます。

取組の例

■身近なテーマを扱う講座を活用した相互交流の拡充

防災を含めた生活等の身近なテーマを扱う講座等を活用し、共に学び合える機会を充実させます。日頃から交流を重ねることで、災害時に助け合える関係へとつなげます。

■ボランティア参加等を通じた外国人の交流機会拡大

町会の祭り、防災イベント、地域活動等への参加を通じて、自然に交流できる機会を広げます。本人の関心や得意分野に応じて、スポーツ・観光等において、知識や経験を活かせるボランティア活動等を紹介し、自分にあった形で地域に関わることのできる場を広げます。

■大学等を通じた留学生の交流事業への参画促進

大学等を通して留学生に交流事業の情報を届け、留学生自身の関心や学び、地域との交流ニーズに応じて、イベントに参加したり、希望する人が交流の担い手やボランティアとして関わることのできる機会を広げます。若い世代間の交流を通して、新たな経験や継続的なつながりへとつなげます。

イ 交流を通じた国際理解の促進

国際理解を深めるためには、外国人に日本の文化や生活習慣を伝えるだけでなく、外国人の文化や習慣、生活上の背景を知り、互いに学び合うことが重要です。

国際交流都市との連携により、文化や慣習の違いを理解する中で、興味・関心を醸成します。交流を深めていくことで関心が強まり、国際理解の促進及び共生社会の実現につながります。

取組の例

■ 国籍を超えた区民どうしの相互理解と交流の促進

在住外国人と区民が、互いの文化・習慣や地域での暮らしについて知り、学びあう機会を充実させます。双方の疑問や不安に寄り添いながら、正確な相互理解と信頼を育み、交流活動への心理的なハードルを下げていきます。

■ 分野間連携を通じた国際交流促進

学習活動分野と連携した講座、文化芸術分野と連携した鑑賞・体験、スポーツや観光を通じた交流等、他分野を入口に国際交流の機会を広げます。ともに文化芸術を鑑賞・体験したり、スポーツやまち歩きを楽しむ機会を通じて、ごく自然に相互理解へとつなげていきます。

■ 各機関等と連携した国際交流への関心喚起

町会、学校、地域団体等と連携し、国籍を超えた区民どうしが身近な地域の活動や交流機会に参加しやすい環境を整えます。区民が海外の文化を知り、外国人が日本の文化にふれる双方向の交流を通して、幅広い世代における関心の喚起につながります。